



放送作家情報

1996/3/25 Vol.11

発行/社団法人 日本放送作家協会

編集/広報委員会

〒106 東京都港区六本木 6-2-5 ハラビル

TEL 03-3401-5996 FAX 03-3479-4250

作家と制作現場の架け橋。 ライターとプロデューサー、 ディレクターは 今、何を望んでいるか。

昨年9月、本情報誌・第2期1号を発行して、半年が経ちました。お蔭様であちこちから反応をいただきました。事実、前号の情報をきっかけに、仕事に発展したり、新しい仲間と出会ったという報告を受け、ささやかながらお役に立てているのだなあと、日本放送作家協会としても、現場と作家を繋ぐお役目の一端を担え、喜んでおります。

社会では、バブルの崩壊と共に、膿のようなものが一挙に吹き出てきて、自分たちのしてきた過去を振り返るいい機会となりました。崩壊の後は建設です。

新たなものを作り上げる時ほど、人々が輝く時がありません。テレビやラジオ、映画や演劇の世界でも、多くの先人たちが残して来たものと、新しい芽が混在し、実に面白い状況になってきています。それらが渾然一体となって、かつてない新しい何かが見えるかもしれません。

新世界作りは、小さな殻にとどまらず、様々な業種の人々が交流することによって刺激しあうところから始まります。創作する現場は実に多彩になりました。放送、映画、演劇、出版といった枠では捉えられない複合的なものが次々と発表されています。人々の価値観が多様化したことにくわえ、インターネットなどの普及も関係しているのでしょうか。そこで、日本放送作家協会では本情報誌をきっかけに、交流の場として『作家協会サロン』を4月に催す予定で、さらに『日本放送作家賞』の復活も計画しております。どうかご協力下さいませ。

21世紀は「哲学の世紀」になるだろうと言われています。どのような新たな哲学が誕生するかわかりませんが、その哲学を生むのも我々創作者たちの役目かもしれません。お互い刺激しあって、よい関係を作っていこうではありませんか。



CONTENTS

特別企画

私の人生を変えた
あのこと、あの人、
あの言葉・・・ 2

ブラッディ・ドリーム 3

オピニオン 4

企画アリマス 6

マイアピール・マイクエスチョン 8

現場発 11

放送落書 13

ライターは見ている 14

放送作家サロン開催! 14

『暴走ビデオ販売中止』の是非を論ず 15

同好の士集まれ! 17

掲示板 17

執筆者リスト 連絡先一覧 18

理事選挙のお知らせ 19

次号のお知らせ 19

STAFF

企画・編集/井川公彦・井上美保子・蔵元三四郎

さらだ たまこ・清水喜美子・田北豊明

東 多江子・平柳益実・藤森いずみ

藤森 尊・増田貴彦・三木睦郎(五十音順)

デザイン・DTP/井口妙子(Catamaran)

印刷/株式会社 美松堂

私の人生を変えた あの事、あの人、あの言葉……

石森史郎

シナリオの師・

八木保太郎先生のあの言葉

生まれて初めて書いたシナリオ『晩鐘』がシナリオ作協のコンクールに佳作入選。大学一年の時に書いたものですが、稚拙ではありますが、今読み返してみると、ひどくみずみずしく、人生を生きていく上で大切にしなければならない善意というものを、恥ずかし気もなく高らかに謳いあげているんです。その処女作が現在も尚作品にいきぎっているような気がします。その折に、やがて師と呼ぶ関係になる八木保太郎に言われたのです。『人間努力することも才能だ』と。今日までの作家人生の金科玉条にしております。

児玉正博

〈ビートルズ

“Free As A Bird”〉

70年安保に揺れたキャンパスに背を向け、新宿東口から歌舞伎町あたりにヒッピーを気取ってたむろしていた僕は、ビートルズの解散を、街頭テレビで知った。ビートルズは、その頃の僕の生活であり思想であり、唯一の情熱であった。あの喪失感、恐らく僕にとっての一つの時代の終わりであり始まりであったに違いない。

思えば、それから数十年、彼らの“言葉”を、どこかでなぞりながら生きてきたようだ。

“Free As A Bird”を、今、一人息子と一緒に聴きながら、僕は、ちっとも変わっちゃいけないと密かに微笑んだりしているのだ。もっとも、女房殿は、いい年をしてと一笑に付すけれど……。

吉田 剛

自分を変えるのは、信仰？

若い頃は、恋で人生が変わり、友で人生が変わった。いま思うと、過度に敏感だったのだ。

いま、出来事ひとつや言葉ひとつで人生が変わるもんじゃ、ない、と思う。若い人から見れば、鈍くなったのか。

このごろ、死、とか、運命とかをふと考えていることがある。もし、自分が変わるなら、神を信じることによって変わるのだろう。その神は、人の知の総和であり、肯定的全知、なのだろう。

しかし、劇詩人ラシーヌを生んだカソリックのジャン・セニズムは、どうやら違うようだ。

神はすべての人を救うのではなく、選んだ人のみを救うという。親鸞を生んだ日本人にとっては、理解を超える信条である。深い信仰者も、救いは神の恣意に委ねられているというこの教えは、もしかしたらユダヤ教やイスラム教の影響をうけているのか。神もまた、民族の血による存在らしい。

津田幸於

いのち、その尊さを
噛みしめて

私は朝日新聞社の元編集委員薮下彰治朗と知り合い、いのちというものが如何に大切かを知らされた。彼は糖尿病から腎不全閉塞性動脈硬化症、心臓バイパス手術に続いて足に壊疽が進み両脚大腿部切断手術。その悲運にもめげず彼は、フリージャーナリストとして第一線で活躍している。私はその姿に接する度に素晴らしい精神力に敬服し感動させられている。

このことは、私の人生を変えた。生きるということは、いのちがあるということだと深く心に留めた。果実の中に固い種があるように——。生命の尊さを噛みしめながら、いま5月の芝居「浪速恋歌・夫婦三味線」の脚本を書いている。

はみだし情報

キメ手は「迫力」

前号「外国でケンカする時は日本語で」と書いたらワケをきかれた。答えは迫力。喋れる人でも迫力まではムリだろう。委細は三百字でも足りないので略。

三浦則夫

お互いのコミュニケーションを図ろう、と始めたこの情報誌です。でも、コミュニケーションの始めは、ささいな出会い。そのささいなコトが、案外、人生を決めてしまうのです。

喜多内十三造 ともだち

たそがれに やってくる
——ともだちがいる
夕焼けいろの 服を着て
あの子守歌 繰り返し
忘れないでね と
帰って行く

辛いとき 傍に来る
——ともだちがいる
冷たい風が 背を押せば
恐れるな 向かって行けと
耳もとでひゅう と
笛を吹く

暗い夜 戸を叩く
——ともだちがいる
人生いつも 独りじゃない
負けるなよ 後ろ向くなよ
あしたは晴れる と
指鳴らす

ともだちよ
ふるさとよ
幼い日
——遠い昔

今もある
この胸に
忘れない
——熱い思い

はみだし情報

WINTER' S 96の白昼夢

今話題の「インターネット」。いずれ企画書も「インターネット」で自由に閲覧する時代がくるかもしれない。そうなれば、我々清貧の士にもアクセス料がタマリ……てなこたーねーか！なにしろこの冬、パソコンを買う金も無い。

田北ほうめい

はみだし情報

『にっぽんの旅愁』をよろしく

『小説宝石』の『にっぽんの旅愁』を受け持ち、カメラをぶら下げながら、日本のあちこちを巡るようになって足掛け5年になります。私の担当は奇数月号ですが、これがなんとも独断と偏見に満ち満ちた気儘勝手な旅の読み物でありまして、決して旅のガイドにはなりません。が、行った先々で会った人々との挿話は、方言などもなるべく聞いたままを写すなど、結構念入りに描いているつもりです。人にご興味のある方、ご一読たまわれば幸甚です。

渡辺利弥

「ブラッディ・ドリーム」

わたしは毎年、石川クリニックでの健康診断のお世話になっている。

その採血の時、ガラス管に入った錚々たる方々の血を見つけてしまった。血を採られながら血が沸いた。

看護婦さんがよそ見しているうちに、尊敬する金子成人氏の血を飲んでしまおうかしらん。そうしたら、少しは上手い脚本が書けるようになるかもしれない。そうだ、せっかくだから押し出しの強いY氏のも、それに話術に長けたU氏のも、知能が高そうでタレント性バツグンのI氏のも、ついでだ金儲けの上手いM氏のも……ええい、書くのが早いだけのH氏のも飲んでしまえ。

それらを血液を飲んだ私は万能だ。

どんな悪条件でも傑作を書いて周囲をうならせ、多少傲慢かましてもみんなに尊敬され慕われてしまう私は、海辺

にスタッフがいつ泊まりに来ても大丈夫な広～い豪邸を建て、趣味の良い調度に囲まれトヨエツそっくりの恋人と美食を堪能しながらもけて太らず、貯まりに貯まった金で財団を作って後輩たちの育成に努め、最期は惜しまれてこの世を去る。追悼番組は、一ヵ月も続くに違いない。そういう人に私はなりた……いんだっけ？ ちょっとブレンドし過ぎて有害物質が発生したようだ。では、もう一度最初から……いたたっ、針を抜くときはもっと優しくして欲しかったなあ。

恨めしそうに脱脂綿で採血の痕をグリグリしている私を、看護婦さんはチラッと見ながら、私の血の入ったガラス管に名前のシールを貼った……「なまけもの子」と。

加瀬木たい子

オピニオン

つまり、意見です。「意見を言う」というアクション、ちょっとご無沙汰だった気がしますね。

井田 敏

☆反応あり・放送作家情報

福岡の某民放局制作部より電話あり。「放送作家各氏について、具体的情報と顔つなぎの機会を」との要望あり。聞けば、人事異動で新任の部長さんと、作家に面識のないスタッフばかりとか。「相手変われど……」の典型でありました。いずれも一匹オオカミの作家諸氏のこと、チャンス作りに役立てばと、新年早々にも「作家と制作者(社)」の交流の場を設けることにしました。反応があったというのは部長氏が「放作情

報」を見て、ということ。とりあえず、九州からの報告。

上野友夫

ラジオドラマか
オーディオドラマか

NHKのラジオドラマが中波から主力をFMに移した昭和50年頃からラジオドラマと云う言葉にいささか抵抗が生じた。そして放送を予定しないカセットテープ、CDによる音声ドラマ・朗読が出現し、これらをすべてラジオドラマと呼ぶにはふさわしくない中波、FM、カセットテープ、CDを問わず耳で聞いて楽しむドラマをオーディオドラマと呼ぶのがふさわしいと云う共通の認識が生まれた。NHKでは平成元年ラジオドラマ班がドラマ部から離れてFMプロジェクトに編入された時(現在はドラマプロダクションに復帰)からオーディオドラマ班と名乗る事になった。この事については平成元年12月に小生が中国新聞の「緑地帯」に書いている。そして平成3年放送作家協会の森繁賞世界オーディオドラマコンクールにより、オーディオドラマと云う言葉を世界に認知させたと云っていいだろう。

大館哲弘

環境問題はまず人間改革から

千葉の畑の中に引越して約4カ月、その間に出したゴミは2回のみです。ゴミ袋が有料だからではありません。燃えるものは焼却炉、生ゴミはコンポスト、缶ジュース、缶ビールは買いません。過剰包装は丁重にお断りし、スーパーなどのビニール袋も最小限にします。ゴミ問題の解決は、一人一人の意識と努力の問題だと思えます。これに限らず、戦争、自然破壊、交通事故、汚職、暴力、騷

スマイリー電通。



【フェイスマーク】
パソコン通信などで、感情やニュアンスをうまく伝えるため
記号やアルファベットを組み合わせた絵記号のこと。スマイリー
とも呼ばれます。ちなみに上のマークは、「喜び」を表しています。

パソコン通信のような文字ばかりの画面では、こんなちょっとした工夫が嬉しいもの。コミュニケーションは、ますますおもしろくなってきました。電通も今年は、みなさんがわくわくするほど、変わります。国内外のネットワークを整備したのも、そのひとつ。インターネットを利用した情報発信サービスを始めたのも、そのひとつです。笑顔と笑顔を結ぶための新しい工夫の数々。電通も新しい顔でがんばります。どうぞご期待ください。

もっと、よく。



株式会社 電通

音、いじめなど、人間を苦しめているすべての原因は人間にあります。ですから、イチロー君がいくら"変わらなきゃ"といっても、人間が変わらない限り、世の中は変わらないのではないのでしょうか？

私はせめて、目の前においしい餌をぶら下げられても自分が加害者に荷担しないようにしたいし、ゴミを減量した挙げ句、最後に自分が粗大ゴミにならないように心がけて生きたいと思います。

毛利恒之

著作権問題に強くなる

大学の先輩であるK弁護士が、著作権訴訟に関する判例のコピーを送ってくださった。「女優の生涯を描いたテレビドラマが翻案権を侵害する」とした請求が棄却された事例」で十年余戦って一昨年、NHKと脚本家らが勝訴したケースである。K弁護士はNHK側の訴訟代理人であった。読ませていただいて、大いに勉強になった。もう35年も前、自作のテレビドラマが初めて海外輸出されたときから、著作権問題には関心を持ってきたが、日本脚本家連盟の著作権委員会的一端になりながら、ほとんど寺島常務理事と事務局におまかせで、お世話になるばかりである。最近、ある作品の契約を交わすにあたって、相手方は「法務部」の肩書のひがでてきた。私たちライターも、知的所有権である著作権問題に強くなる。

井川公彦

単発TVドラマの復権を

ドラマはいつからレギュラーものと連続ものしかなくなったのだろうか。昔は、一時間単発ドラマが結構あった気がするのだが、あれは幻だったのかしら。小説で言えば、レギュラーは連作もので、連ドラは連載ものに相当するが、そういえば

小説だって本当の一話完結は少なくなった。短編小説集が売れないから、連作になるような。テレビドラマもまた同じ。制作経済上、単発が不利なのはわかる。が、ラジオドラマでは、良質な単発ドラマが毎週放送されている。テレビドラマも、一話完結のドラマの枠を作って貰いたい。そうすれば、年間、50人の作家により50本の名作が生まれる——と確信する。

後藤正義

整形美人と醜女

主催者の招きで「ピカソ展」を観た。見事に「ゲルニカ」が再現されていた。作品の完成までの芸術家の創造の苦悩の歩みが、一連のスケッチや完成までの記録もあり、改めてピカソの人間性や個性が強烈な印象として残った。著名な作家の肉筆の原稿を見ることが好きだ。しかし、今ではワープロでも打たない限り悪筆には目もくれてもらえない。生原稿を送って、FAXでワープロになって転送されてくると仰天する様な文字が出てくる。「今日」と書いたはずが「京」となってくるなんてザラである。漢字もとんでもないアテ字になっている。鉛筆で書いた苦心の文面も、確かに整形美人に生れ変わって見た目はきれいだが、他人の文章を読んでいる様だ。テレビも一インチの編集の頃が懐かしい。今は編集も簡単すぎる程スピーディだ。文章があつて絵ができるのでなく、絵に合わせてコメントを考えさせられる時代になっている。その為か30才も若いディレクターは、断りもなしに勝手に文章を変えて平気な顔をしている。今度は見事な醜女になっている。呆れてはいけない。怒ってはいけない。アナログ時代の人間は、ひたすら達観するしかない。が、「ピカソ」でも一度観てこいと怒鳴りたいのだ。

— ハイタッチの映像空間 —
東京メディアシティ



国際放映

制作営業 03-3749-7216
スタジオレンタル 03-3749-7215
版權管理 03-3749-7213



株式会社 ホリプロ

(本社) 〒153 東京都目黒区下目黒1丁目2番5号
Phone 03 (3490) 4611

(大阪営業所) 〒530 大阪市北区中崎西3丁目3番34号
ヴィラシバヤ梅田東5E
Phone 06 (373) 4041

企画 アリマス

ここは、企画のフリーマーケット。
自由に手にとってご覧下さいませ。
'JUST LOOKING' はダメよ。

竹村 潔

谷崎潤一郎もまっ青！

不朽の名著“痴人の愛”の舞台を東京から大阪に移して、おきやんなおさな妻奈緒美の奔放な生き様を更に増幅させたちょっぴりHで、ちょっぴり楽しく、ちょっぴり面白くて、ちょっぴりハラハラさせて、ちょっぴり腹が立って、ちょっぴり気の毒で、ちょっぴり恐ろしく、そしてちょっぴり悲しい芝居“おしんの愛”をこの度完稿。40才の齡の差を撥ね付けて結婚したものの、若年増とのラブゲームに現をぬかす少女

妻に自在に弄ばれ、悩乱する主人公河合譲治。しかし、少女妻には意外な裏があった！最後は哭いて頂きます。二幕十三場150枚。御一報あれば本篇のコピーを送ります。

関上芳裕

アカデミー賞狙います！

本紙への寄稿が縁で大山勝美さんと刺激し合う仲になりました。私は今、ハリウッドへ進出するための企画として“本格ミステリー”のシナリオを書いています。原作は既に昨年11月に脱稿、某文学賞に応募しています。シナリオにメドがついたらロスに行き、世界市場で勝負を賭けます。タキシードを着てハリウッドに赴き、オスカーをこの手に受けるのが私の夢なので、大山さんにも協力していただきます。放送作家情報によって誕生した二人の協力がどのような成果を挙げるか楽しみながら仕事をしています。

増田貴彦

とっておきの蔵出し三企画

1. ポルノ大決戦 エマニエル対チャタレイ ♪ 発禁本収集にとり憑かれた二人の有閑マダム。彼女らが出会った官能秘密図書館とは……？
2. 東京大壊滅 巨大アマゾネス対国連平和軍 ♪ 盗まれた秘宝を追って東京にやって来たアマゾネス。マヤの呪術によって巨大化。欲望と虚飾の街を大破壊。
3. 湾岸大戦争 暴走族対半魚人 ♪ 湾岸をカッ飛ばす暴走族が跳ねたのは、何と半魚人の子供。復讐に燃える親半魚人と暴走族との果てしなき戦いの火蓋が切って落とされた！

TRASH MOVIE 企画推進委員会代表 増田貴彦

根岸 季衣 銀 粉 蝶
山下 千景
中上 ちか 前田 悠衣
加倉井 えり 川 俣 しのぶ
平塚 奈々 中込 佐知子

脚本家

清水 喜美子 大鳥 蓉子

森下 哲 夫
鈴木 義 男
熊谷 俊 哉
中根 徹
田中 智 也

渡辺いっけい

有限会社 **イジマルーム**

〒160 新宿区新宿1-36-6ラフィネ新宿601号室

TEL (03)3351-3889 FAX (03)3351-3369

SONY

人生のシナリオだって
人それぞれ！

生命保険のプロフェッショナルが
あなたの個性を応援します。

ソニー生命保険株式会社

川崎支社

担当ライフプランナー 吉開 孝人

〒210 川崎市川崎区駅前本町3-1
リクルート川崎東口ビル8F

TEL 044-245-1002 FAX 044-245-2104

ひとり・ひとりの・ひとの
ソニー生命

発行・映人社

〒107 東京都港区赤坂5-4-1F
シナリオ会館4F
TEL 03-3585-0033(編集部)
TEL 03-3585-0035(編集部)
FAX 03-3585-0043(編集部)

月刊
ドラマ

テレビ・ラジオの脚本専門誌(毎月18日発売)

毛利恒之

オーディオドラマ『月光の夏』を

終戦50年の昨年夏、映画『月光の夏』がおかげさまで観客160万人を超えました。希望される視覚障害者のためにFM波副音声サービスを、聴覚障害者のために字幕版やボディソニックを用意したりしました。公開当初から、視覚障害者のために、原作小説の朗読テープを作らせた図書館も各地にあります。まだまだ数少ないのです。できればオーディオドラマを制作・放送し、またCDで多くの方に聴いていただければと思います。「特攻」の悲劇の史実を通して、今日の平和の貴さ、いのちの重さを考える、音楽性の高いドラマです。ご協力いただければ幸いです。

あがた夢童

360度の舞台が客席を包む
『ピノキオの夢』

大阪発、世界行の児童文化を発信しようと劇団カッパ座を創設して29年、等身大ぬいぐるみ人形劇で全国の劇場公演、アメリカやブラジル等での海外公演、HNKテレビの出演を行っています。今回、額縁型の舞台を離れ、五つの舞台が客席を包みこむ360度のライブステージ『ピノキオの夢』を制作し、大阪の1カ月公演で4万人の親子に見て頂きました。客席に一步踏み入れた途端に広がる夢空間……世界初の試みはテレビや新聞にも取り上げられて好評でした。音響や照明の費用が三倍かかって苦勞もしましたが、それを超える感動を味わうことが出来ました。興味を持たれましたら、是非ご一報を!

神津友好

『笑いの日制定』に参加して下さい

平成8年8月8日を“ハッハッハッ”と笑う『笑いの日』に制定しようとイベント制作が着々と進行中です。賛同御参加下さい。昨7年4月「笑いを考える夕べ」(安田講堂)小田晋、三遊亭金馬他。7年8月8日「笑いの日・前年祭」(都市センターホール)柳屋小さん、岩井半四郎他。8年1月31日(帝国ホテル)「新年チャリティ・パーティー」黒柳徹子、加藤芳郎、アグネス・チャン他。そして今年の8月8日いよいよ制定記念イベント開催。私の分担は常任理事として各催しの構成演出。なお、それまでに、演芸作家40年のネタ帳から「笑いの感性(笑説、笑論)」をいま、まとめて出版の作業中(出版社はまだ未定です)。「笑いの日」の会事務局。

井川公彦

金曜時代劇Pさんへ

『ひらけエ、海!』明治の夜明け前。明日の世界を夢見て、長崎海軍伝習所に集う若者をユーモラスに描く青春グラフィティ。来島水軍の末裔で水夫の若者を主人公に据え、若き日の勝海舟や榎本武揚らと名もなき船乗りの友情と挫折を描く。(オリジナル)

『鷹匠でござる』幼い頃から鷹の事しか知らない愚鈍な男。しかし、この男どう見ても(高橋英樹のように)立派な侍にしか見えない。それゆえ、誤解が誤解を生んで、さる大藩の家老にまで押し上げられ、御家騒動に巻き込まれていく。(原作あり)

西澤 實

『元雅詣』

流祖観阿弥の孫観世元雅の死に様にこだわって数年になる。諸書、定かではない。揃えようと思いついて調べれば調べる程傍証希芸。どうにも腹に力が入らぬ、腰が座らぬ。思えば老残! 想念枯渴、死中の活は元雅退隱の地に向いて、空を仰ぎ山野を望んで自ら往昔の人と化すことだと気付いた。目指すは奈良県北の高取町越智。五代義教に無視されて憤りの天才が逼塞した據点である。取材といえば、従来は制作企画のそれで、末はRだTVだ……きまっていた。この度はサステイニング。幸い現地の名刹光雲寺さんが資料をくださるといふ。旅費を貯めて……いや誰か取材支援の篤志家現れて!

はみだし情報

出版社を探しています

小説を書いています。瀬戸内海賊もの。時は南北朝抗争時代。世に名高い能島、来島、因島村上三家海賊の始祖に当たる村上師清と、この人物を海賊に仕立て上げた男の物語りです。一巻六十枚乃至七十枚のスタイルで執筆中(目下八巻まで脱稿)完成は一年乃至二年後の予定、単行本として出版希望。雑誌の連載も可。TV、劇画の素材にも向いています。予約御相談に応じます。

長谷井杏亮

マイアピール
マイクエスチョン

アピールって言われたって。そうでした、物書きって謙虚な人々ばかりだから。ゴメンナサイ、そんなあなたを困らせて。

池本真司

遺伝子の犯罪

昨年4月、21年勤めた自治医大を定年、名誉教授になってしまいました。科学研究者の関係もあって、続けて1年大学で仕事を続けています。温めて続けていた「遺伝子の犯罪」ボツボツと始めています。なにしろ、O型の患者さんにAB型の骨髄を移植すると、2ヶ月位でAB型に変わってしまうのです。

 六行会ホール
RIKKOKAI HALL

21世紀の
演劇をめざして

財団法人 六行会 経営
〒140 品川区北品川2-32-3
TEL 03-3471-3200

◇京浜急行「新馬場駅」(品川から2つ目)徒歩2分

本庄一郎

テレビ・テレビと
おっしやいますが

たとえば、東京在住の小生が、現在受信できる電波メディアは、テレビが10数波、ラジオも10数波(紙数の関係で大ざっぱな記述だがご容赦を)ある。これだけでも約30波。しかも“目と耳”を狙うメディアは激増している。

既存のCATVは10チャンネル。音楽有線放送にいたっては100チャンネル。

米国の「ディレクTV-DMC」も日本上陸、97年まで百チャンネルのデジタル衛星放送を実現するという記事もあった。

そして、すでに加入者4000万以上、毎月10%増といわれている世界インターネットワークの拡充。一方、ゲームソフト、ヘッドホンステレオ、レンタルビデオ、家庭用カラオケ、携帯電話、CD-ROM、カーナビ、文字放送……きりがな

い。“電子個人主義の時代”という言葉もまかり通る。

米国の社会学者ジョージ・ギルダーが「地上波テレビ局は19世紀のアイスボックスか氷売り馬車のような遺物になる」と断言したのは数年前だ。

米国のテレビ3大ネットの身売り等の大変動は周知のことだが、さて日本の現在のテレビ業界は無関係か?

鈴木 進

頑固おやじ

41年間、二足のわらじを履き続けてきましたが、昨年からようやくサラリーマンを卒業し、文筆一本となりました。

「上杉鷹山に学ぶ」「中村天風・勝ちぐせのセオリー」(三笠書房)などを上梓して、そのご縁で北海道から沖縄まで各地の講演会に招かれました。

どこへお邪魔してもマスメディアの影響力の大きさにいまさら驚くばかりです。それだけに軽佻浮薄、猟奇残酷な番組にはどこかで歯止めをかけないと、統制が復活したり、良識人に見捨てられたりすることになるのではないかと気掛かりです。先進諸外国ではどうなっているのでしょうか?

これからはいよいよ頑固おやじに徹するつもりです。

水島 総

映画「南の島に雪が降る」
を観てください!

昨秋、映画「南の島に雪が降る」の制作・脚本・監督を担当しました。映画の脚本・監督はこれで2本目ですが、自分の作りたかった作品という点から言えば、これがデビュー作ということになります。昨年は戦後50周年ということで、様々な戦争映画が作られました。しかし、私の作品は、団塊の世代作家が提出した、それらとは全く異なる視点の新しい戦争映画になったと自負しています。インディペンデント映画のため、宣伝などまるで出来ませんでした。これから自主

上映など、全国各地でしていきますのでぜひ御覧下さい。出演……菅原文太、高橋和也、根津甚八、烏丸せつこ、佐野史郎、風間杜夫、西村和彦、趙方豪、菅原加織、その他。

高谷信之

自転車には戻れない

昨年10月インドを10日間程旅行して、ショックを受けました。

簡単にいうと豚も牛も犬も人間も、自転車も車もトラックも同じ道路の上を歩いているという、極めて当たり前のことに改めて気付いたからです。

全ての動物を人間から隔離した日本……

インド旅行のことはNHKのFMシアターに書きます。

夏頃放送の予定です。

今年から芝居にも復帰。演劇集団円のアトリエ公演に書き下ろし、8月上演です。

車を捨てて、自転車まで戻れたら人はどれ程幸せかというテレビドラマの企画を考えています。自動車会社がスポンサーでこんなドラマ……無理でしょうね、この国では？

ご関心のある方ご一報下さい。

井上美保子

不幸じゃなくて、すいません

女のライターというものは、不毛な恋に疲れ果ててガス管をくわえたり、男を追いかけどしゃぶりの舗道でハイヒールのかかとをへし折った経験がないといけないんでしょうか？

確かに私はメリハリのない人生を送ってきました。その上のっぺりした顔してますよ。でもね、それとこれとは話が別だと思っんですけど。

ある女性ライターは、「ダンナと子供のこと、こっちははいっぺんも口にしたことないのに、すぐ『〇〇さんは結婚してるから』って言われんのよ」とぼやいていた。

人間の陰影ってのは色々だし、女が仕事してるのは特別なことじゃないんですよ。

この世界、フツウの会社より遅れるとこがたくさんあります。

田中政雄

自他、共に

新会員も遠慮なく、という誘いに乗ってペンを執った。戯曲を書いている。文化庁の戯曲部門で共に受賞した杉浦久幸と、その時、その席で話したら、岐阜の生まれで、子供の頃、地域劇団はぐるまの“郡上の立百姓”にその他大勢で出て、“郡上踊り”を踊ったという。私の方は、先年、京浜協同劇団が同劇を演じたとき、文学誌の依頼で劇評を書いた。

Schuh' Schlappen

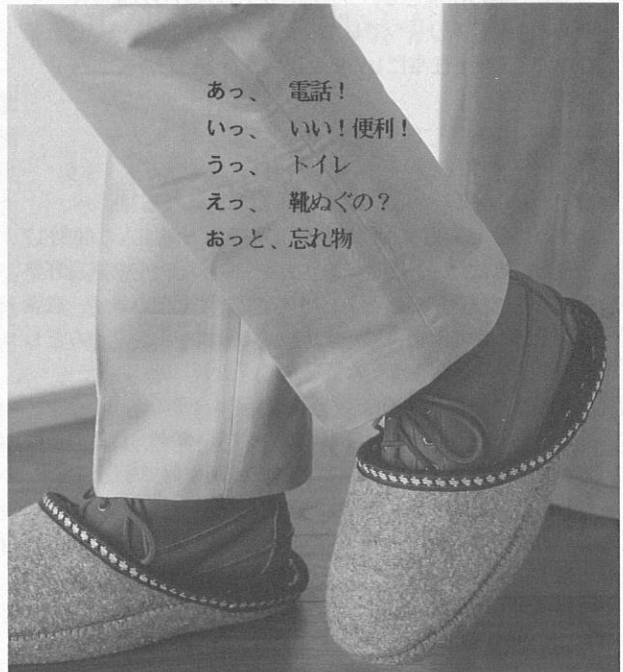
スイ、スイ、スイスからやってきた！
シュー・シュラッペン

土足でスイスイ
脱がずにスラスラ
シュラシュシュシュ！

靴にはくスリッパ
靴のままはくスリッパ
床を汚さず
床に優しい
あたらしい 生活必需品

使ってみればわかります

シュー・シュラッペンとっても便利
シュー・シュラッペンとっても親切
シュー・シュラッペンとっても清潔



あっ、電話！
いっ、いい！便利！
うっ、トイレ
えっ、靴ぬぐの？
おっと、忘れ物

奇遇、ということで親近感。その後、杉浦が主宰する劇団もつきりやの、「ノーガード」「あなたがわかったというまで」の公演に招かれた。アクチュアルないい芝居だった。杉浦の奥さんの門岡瞳も熱演していた。ワハハ、自己アピールが、もつきりやの宣伝となった。それもよし。戯曲を書く身なればと自他宣伝。

海原 卓 舞台に熱中

最近のテレビドラマの傾向からいって、放映に至るドラマはお呼びでないと諦めが先に立つ。一昨年、ポール牧演ずるひとり芝居「死刑囚——島秋人の生涯」を発表し、再演が続いていることに元気づけられて、うちから突き動かされて暫くは舞台に熱中している現状です。

森 治美 怖いけど楽しい、それが仕事

名古屋オペラ協会からの依頼で、今度はじめて創作オペラを手掛けることになりました。新しい年に新しい分野での仕事と張り切った気分ではありますが、いざ実際に原稿用紙に向かうとなると話は別。一体どう書いていけばなどと戸惑うばかり。オペラは観るもの聴くもの。それもあまり熱心とは言えない観客の一人でしたから。

素材として与えられたある時代のある人物の、本当に少ない資料を前に途方に暮れ、何故引き受けてしまったのかと空恐ろしい気さえています。

でも、他の仕事とていつも怖さからは逃れられません。その怖さも楽しみの一つでした。なんとか今回も、怖いけど楽しい、と言える仕事にしたいと思い、祈る、日々です。

森 道夫 北のライター 北からの発信

作家協会北海道支部には昨年2名の新人が加入、総勢17名となり意気軒昂なものがあります。倉本聡氏主宰富良野塾の出身北村稔氏はじめ若手もバリバリ活躍しています。意識の上ではもう北海道はローカルではありません。北からどしどし全国へ発信しようと意気込んでいます。

北海道は、動植物をはじめ自然の宝庫、そのノウハウをいっぱいもった会員たちが手ぐすねひいています。会員の皆様北海道にちなんだ企画、調査、構成、制作何でも結構です。お力になれると思います。北のライターにチャンスを！

本庄一郎 思いがけなくトクする気分

数年前から本名で小説を書き始めた。(95年度は「男たちの星座。らーめん三代奮闘記」「五十嵐勝と中国留学生の日

中友好・謝謝の樹」いずれも成星出版)

また、時代小説もあれこれ書かせてもらっている。そのせいか、歴史読み物専門の出版社から、思いがけない注文をもらう。江戸珍商売についてとか、水野忠邦と姉小路、お市の方と娘おごうの方、かと思えば「水滸伝名場面集」のうちから「黒旋風の李逵」と「双鞭の呼延灼」についてなどなど…。

じつのところ、注文を受けたあと、大急ぎで資料漁りをする。(つまりこれ、ドロナワ式?!) だが、これを機に“目からうろこが……”を体験、さらに突っ込んで学ぶ気になる。

それにしても「勉強になるなあ」という気分はいいものだ。こんなこと、テレビの仕事であっただけ……

さらだたまこ 料理本・新刊出たから買って！

昨年の後半から書籍の仕事で明け暮れていましたが、ようやく書店に出揃いました。

一つは料理シリーズで「JUST LOOK JUST COOK」No.1『パスタ』No.2『道具と料理』No.3『日本の洋食』No.4『ヌーベル・おふくろの味』No.5『アット・ホーム・パーティー』(読売新聞社) 各1200円。洋書感覚のビジュアル重視で、ページごとに絵コンテを作ってから撮影していく本作りはさながら、映像の制作過程に通じるところがあります。また『ワイン・ベストセレクション260』(日本文芸社/監修・日本ソムリエ協会会長浅田勝美)を執筆しました。もう一冊は『知ったかぶりコレクション』(立風書房)。

ワイン関係の番組など、グッドな企画あります！

はみだし情報

終戦50周年 TVドキュメンタリーを 自主製作

昨年(平成7年)、友人と二人でサイパン玉砕を扱った終戦50周年TVドキュメンタリーを企画し、やむを得ぬ事情から小生の構成・演出で自主製作を見切り発車しました。そして約1500万円を、自己資金とサイパン玉砕関係者からの募金で調達し、民放向け55分番組として完パケのTVソフトを完成しました。その後、デモテープを全国の各民放局にバラまき、テレ朝、札幌テレビ、九州朝日、沖縄テレビ等、合計14局でオンエアして貰いました。各局とも番組でしたので、回収できた金額はおよそ170万円でした。戦争の亡霊に小生の貯金を捧げた一年でした。勉強になりました。

香月隆

新鮮な田舎作りを！

園田文彰

熊本県民テレビ 報道制作部チーフディレクター

ボクは脱落組。東京で放送作家をしていたが、親のすすめで地方局の入社試験を受けた。久利一さんや金森君は今でも活躍中の模様。さて、田舎の局に来たが忙しさは変わらない。忙しさの内容だけは変わった。熊本は水がよい。子供が四人も生まれた。もうすっかり縛られまくっている。ときどき溜め息。40歳を越えると、家庭的には保守的になる。心根の深い処は依然、灯はともっているが……。ボクの仕事。ローカル局のディレクター。またはプロデューサー。しばしば、ただの酔っばらい。ただの釣師。妻は気をつかってくれるが、つかい方が下手。愉快な事もいくつかあるが、馬鹿野郎もふんだんにある。酒を飲んだり魚を釣ったりする理由は、電柱の数ほどある。田舎なりのドラマを模索。7年間に8本制作。うち6本がボクの企画。うち3本はボクの脚本。ドラマもいいが、さらに新鮮な「田舎作り」を探している。アイデアあったら教えて。仕事発注してもいい。ただし、ギャラ安いよ。申し訳ないけど。だからホラ、気晴らしか物見遊山のつもりで来て。馬刺と辛しレンコンあり。

もぎたてテレビは路地裏まわり

薦田高士

南海放送 報道制作本部 制作部部长

私たちが毎週日曜日の朝9時30分から放送している「もぎたてテレビ60」は、今年4月で6年目になります。番組のコンセプトは「愛媛のいいところ探しの旅」です。「いいところ」とは、温かい人情、たくましい人の営み、おいしい食物、美しい風景などです。この「いいところ」があるのは路地裏です。だから私たちの取材は路地裏まわりになります。横丁の巻き寿司の店があったり、土蔵の中にお宝が眠っていたりします。地元の人でも知らなかったという話題を見つけ出してくることを目標にしています。取材範囲は出来るだけ狭くし、例えば小学校の校区単位を基本にしています。

おかげさまで視聴率も1月7日分が、22.5%(過去最高30.7%)で、視聴者が日曜の朝「もぎたて」を見て同じ場所へ足を運び、見たり食べたりする社会現象がおきています。私たちの成功例はBS、CS時代にローカル局が生きのびる一つの事例だと思っており、これからも徹底的にローカルに徹し路地裏まわりを続けたいと思っています。

「制作現場」の現場です。プロデューサー、ディレクターの方々に、「どうか御発言を」とお願いしました。一緒に番組を作る同志たちの、共感と情熱と本音が詰まったページです。これからは、P、Dさんはもちろんのこと、そのほかのスタッフ、俳優さん達のメッセージも、このスペースでお待ちしています。

現場発

身近なネタから普遍的なテーマへ！

半田俊彦

九州朝日放送 テレビ制作部部长

おそらく、放送メディアは〈情報や娯楽〉を人々に提供し、進歩や幸福や平和を模索する為の手立てとなるべき責務を何らかの形で負っている。

それがどうしたことだろう。「オウムだ」「いじめだ」「芸能スキャンダルだ」……最近のテレビを見ていると気持ちが悪くなる。明石家さんまのギャクじゃないけど『テレビは何処へ行こうとしているのだろう……！』

私たちはローカルエリアで放送を生業として暮らしています。私たちの地域には画面に登場しただけで視聴率を稼ぐタレントもいなければ、インパクトのあるネタもそうそうありません。それでも、地域の問題を丁寧に集め、そこに暮らす人々の生活や気持ちを伝えられれば、テレビを見ている人々の小さな幸せに役立つと信じます。

『身近なネタや企画から、人間の普遍的なテーマへ』～これが目下の仮題です。

オリジナル・ビデオは熱い！が、しかし……

公野 勉

東北新社 映像制作部プロデューサー

現在、不況の風に立ち向かえるほど映像界の鬼子、オリジナル・ビデオが“熱い”。それは企画力、変化球、奇想天外さ——と、かつて創世記のTVが持っていた若い活力をオリジナル・ビデオが持っているに他ならないからだ。

ただ、一方で我々製作者が気をつけなければならないこともある。先ず制作環境の向上である。ビジネスに追われて制作費のダンピング競争を無限に続けてしまうことは、クオリティも無限に下がるということだ。また現場では、映像がビジネスであるということを忘れマニアックな画作りに走りすぎたり、現場指揮をする者が昔ながらの“根性”を叫んで、過酷な労働現場しか組めないということも、健全な業界の発展を阻害する。若い有能な芽は冷たい風によって吹き飛ばされ、枯れもするのだ。

映画誕生百年というが、実は邦画はビジネスとして成立していない。すべての関係各人が笑っていられる——それがビジネスであり、産業として邦画が認められる時なのである。

近頃編成で大声で囁かれていること

久保田 晃

朝日放送 テレビ編成部課長

「なんでうちは年間プライムトップやのに全日4位やねん！ ケツタイな局やなあ。(幹部)」「知ってはります？ 全日トップ局の自社制作時間より、うちの社情報担当の時間が長いいうのん！ サリンやオウムの裏でのローカルワイドでようやってまっせ。将来のためにも作り続けんと……。 (編成部員)」「『おどろき』も『たけしの万物』も健闘するけど、うち制作のプライムは東京で安定せえへんなあ。(幹)」「あざとさ不足とよう言われます。エー意味でも悪い意味でもチョーネンテン前J系のナゴリでっせ。マスコミの良心みたいなのが、プライムでチョコロチョコロしよる、それがアジでっせうちの。今度原稿頼まれましたん。土曜プライムで毎週ドラマやってますとか、『ナイトスクープ』並みの数字とるプライム企画募集とか書いときますわ (編)」「『サンミス』も『時代小説大賞』もよろしゅうたのんどけ。(幹)」
——以上ごく最近の編成部内のやりとりをもとに、一部オモシロク脚色しました。

「包装紙」は創り手の誠意

高沢裕之

NHK ドラマ番組部チーフプロデューサー

「吉宗」の放送が終わって、精力的に他局の番組を観るように心掛けている。以前、ジェームス三木さんに「プロデューサーに限って、番組を観ていない」と言われたことが、心にひっかかっていることもある。評判の良い番組は、流石に「サムシング・ニュー」があって面白い。「仕かけ」やターゲットのしぼり込みなどの明解さが心地好い。そして最近、特に関心をもって観るのは、商品を含む「包装紙」。タイトルバックやアバンタイトル部分である。連続ドラマの場合、脚本家の映像指定がない唯一の部分であり、また大胆に制作費を投入しにくい部分でもあるだけに、逆に制作現場の意識が見えて面白い。内容はもちろんだが、そこには情性でない送り手の誠意が現れるところでもある。

現場発

「ドラマチック」なゲーム

鈴木幸一

マルチメディア ソフトウェア デザイナー

ゲームが最近、変わりだした。イマドキのゲーム、特にRPGやアドベンチャーゲーム等には、ドラマチックなストーリーが求められているらしい。「努力と根性、愛と友情溢れる涙に夕陽を映し、宵待草にloverを想う」てな訳で音楽が盛り上がり、主人公が面をキッと上げると朝霧の中に神々しい光が差し込んで死んだ恋人の笑顔がオーバーラップして「ほら泣けっ」て感じのドラマチック(暴言)。どうやらソナ感じのものが必要らしいのである。昔の「ゲーム」にもドラマはあった。でもそれは、記憶と限界に挑戦し、何かを掴んだ瞬間に感じるエクスタシー、努力と偶然が産み出す感動であった様に思うのである。乱暴な比喻をすれば、スポーツ選手が創り出すドラマ性に近かったんじゃないだろうか。定められた結果も起承転結もない。現象の連続に過ぎぬゲームフィールド。しかし、そこには「プレイヤーがクリエイトするドラマ」が確かに存在したのである。

対して、イマドキのゲームプレイヤーには「ドラマのクリエイター」としてだけではなく「ドラマの観覧者」としてのスタンスも提供しなくてはイケナイらしい。そこで世間のゲーム会社は、こぞって「ドラマ作り」の専門家諸氏に、お力添えを願う次第となったわけである。薄暗い部屋の中で画面に向かうヲタク少年の巣窟に、麗しく聡明な放送作家のお姉様や、センス溢れるデザイナー諸氏が入り出す……これはこれで喜ばしい。が……やっぱ、何か違うのだよな。ゲームってのは、「努力と根性、愛と(以下略)」のドラマチックだけで構成できるもんじゃ、決してないである。ドラマチックな物語が誕生したら、それを旨くゲームパラダイムに変換し、取り入れる必要があるのである。でもその辺りのバランスが、この業界どうも試行錯誤の真っ最中らしくて今一つ芳しくない。ストーリーに振り回されているゲームや、すったもんだの末にどっちのドラマ性も欠落してしまっただけがわかんなくなっちゃったゲームがまだまだ多い様

帰ってくる「少年ドラマ」

10年以上、日本中の少年少女をテレビの前に釘づけにし、大人になってからも忘れられない感動を心に刻んだドラマシリーズがありました。「少年ドラマ」です。

「ユタとふしぎな仲間たち」、「二十四の瞳」、「風の又三郎」、「ふぶやきの岩の秘密」などを視て、当時の少年少女達は、ある時はファンタジーの世界に遊び、またある時は感動の涙を流し、時には人間の心の奥にひそむ真実を知りました。

そして幾多のシリーズの中で、少年少女達を最も魅了してやまなかったシリーズ、それが、あの今や伝説となった「タイムトラベラー」をはじめとするSFものでした。「なぞの転校生」、「未来からの挑戦」、「幕末未来人」などSF学園ものからSF時代劇まで、当時テレビでは未開拓だったこのジャンルへの果敢な挑戦に、世の少年少女は熱狂的な拍手を送ったのです。

かく言う私も「少年ドラマ」シリーズの晩期にその末席に連なった一人です。その時はただ闇雲に面白いドラマをと突っ走る駆出の駆出に過ぎませんでしたが、制作現

中村哲志

NHK ファミリー番組部プロデューサー
場では子供達に面白くて質の高いドラマをプレゼントしたいと熱気に溢れていたように思います。新しいジャンルの開発、新しい演出手法への取り組みに貪欲でした。そんな制作現場の熱気の中から先に述べたような数多くの話題作、秀作が生まれて来たのだと思います。

その少年ドラマが、10年以上のブランクを経て、新しいSFものを引っ下げて、ブラウン管に戻ってきます。

それは、岡嶋二人原作の「クラインの壺」。新しい少年少女ドラマの幕を開けることが出来るかどうか、このドラマの出来にかかっています。

(放送は3月18日～ NHK教育TV18時25分から10回シリーズです)

はみだし情報

「放作情報」は自由交際

この情報の1号を読んだプロデューサーからTelあり、「〇ページのXXさんに連絡したいんですが」。その後おふたりはお見合いし、何やら企画も進んでいるとか。編集者冥利につきます。お客はん、自由交際でっせ。

初代デスク・東多江子

に思えてならない。

ここ数年、「ゲーム」という存在が、当たり前になって来た。様々な「ドラマ」を求める異質な価値感が共存する「ゲーム」。ゲーム屋が物語作家の方々を旨く利用して、そして作家の方々がゲームという土壤に触手を伸ばし、やがてそのうちひよっとしたら、全く新しいスタイルの「ドラマ」ってものが誕生するかもしれない。バイオニアと云うには気恥ずかしいけれど、自分達は、そんなエキサイティングな現場に身を置いているのかもしれない。そうだとすれば、これほど楽しい事はない。

放送落書

このラジオに流行るもの

女のウラ声 下司笑い
サセソはほとんどティーエッチ (th)
鼻独無声化 区別なく
早口、スライド、ブッキラ棒。
ひとりよがりのインタビュー
「やはり。」「けれども。」「そうですね。」
「まア」「まア」づくしの無内容。
著書 肩書きの知名人。
しゃべりは全く 駄迷人。
ラジオドラマを聞いてみりゃ
BGだくさん 大難解。
いざちう時の“頼み”なる
ラジオのことば 今すぐに
どうかしないと 老化する

小島法師

ライターは見ている！

首都高速トライアルMAX 販売自粛要請について

君よ憤怒の河を渡っても無駄か？

(ライターの立場から雑感)

暴力はいけない、ということテーマに作品をつくらうとしたら、その暴力をきっちりことん描かなくてはテーマは立たない。それと同じで「暴走はいけない」ということを毎回テーマに掲げている首都高速トライアルシリーズは、故に「暴走」をきっちり、迫力をもって撮っている。なのに今回、警察から叱られてしまったのは何故だろうか？

正直、僕はどのようなスタンスでこの原稿を書いているのか悩んでいる。日本の文化度の低さや娯楽というものに対する理解の無さ、そんなことを今更書いたところで、訴求力はない。そりゃ、いいたいことは山ほどある。

「無許可で撮影」——どうせ許可なんかせえへんくせに。
「ビデオで触発されるドライバーが出てくる」——そんなアホは何みたって一緒や。

何故か関西弁になってしまったが、胸の内はこうだ。それに少々ヤツアタリをさせてもらえば、この件に関して同業者の方々の無反応かつサイレントな態度も気になる。いってみればこれは警察の事前検閲である。「対岸のファイヤー」は今書いているあなたのシナリオにも飛び火してくるかもしれないのに(個人的に同情や怒りを表明してくれた人もいるのでそれはそれで感謝している)。

つい興奮していらぬことを書いた。それはともかく、一番

残念なのはこれが僕のVシネデビュー作であるということだ。僕は無名のシナリオライターである。与えられるチャンスは決して多くはない。少ないチャンスを実際にものにしていかなければ、いつかは淘汰され、人生の敗残者になってしまう。どんな優れたシナリオでもそれがフィルムとなり商品として流通しなければただの同人誌だ。だれも注目はしてくれない……。

僕はアドレナリンが沸騰するようなものか、思わず笑ってしまうバカでムチャクチャなハナシ(企画アリマスの項を参照してください)を書きたい人間である。今回の事件でますますその場が狭まってきたような気がする。30も半ばを過ぎた今、僕は焦りのなかにいる。いつまでもこの巨大な才能を眠らせておくわけにはいかない。

……と、ここまで書いたところで強制捜査の報が飛び込んできた(2月16日現在)。本来なら怒りの追加原稿を書くところだが、感情に任せて論旨を繰り返しても意味はないのでやめておく。僕が精根込めて執筆したかけがえのないドラマはついに……幻の作品となってしまった。

首都高速トライアルMAX 脚本・増田貴彦

放送作家サロン開催！——1000円パーティへのお誘い

この『放送作家情報』を縁結びの神様として、テレビ、ラジオ、映画、出版などの第一線で活躍中の皆様と私たち書き手との交流と親睦をはかるため、次のようなサロン(親睦会)を開きます。

日時： 4月23日(火) 午後6時～8時

場所： 港区六本木6-2-5 ハラビル内

日本放送作家協会

(日本脚本家連盟ライタースクール教室)

☎ 03-3401-5996

☎ 03-3479-4250

参加費： 協会員は1,000円

外部の方は無料ご招待

参加費の額からもお察しのとおり、ビールなどの飲み物に寿司、スナックていどのささやかな集まりですが、互いに名刺交換をするも

よし、新しい企画をめぐって口角泡をとばすもよし、果ては意気投合してめいめい二次会に繰り出すもよし——とにかく、ざっくばらんで有意義な集まりにしたいと思っています。

今後、『放送作家情報』発行(年2回)の都度、このサロンは定例化したと考えていますので、第1回の今回も奮ってご参加ください。

協会の皆様には改めて通知は出しませんが、準備の都合もありますので、参加ご希望の方は協会事務局へ葉書でお知らせください。(4月18日必着！)

外部の方々も、出席希望をお知らせいただければ幸いです。(お葉書でもお電話でもOK。これも4月18日までに)。また、ご寄付などのご心配は無用です。(お酒の一本ぐらひは有り難く頂戴しますが、むろん手ぶら大歓迎です)。

では、ともに楽しい一夜を！

担当：企画事業委員会

『暴走ビデオ販売中止』の是非を論ず

につかつビデオが制作したルーレット族(高速道路などで競争する暴走族)を主人公にした青春ものビデオ『首都高トライアル』に、警視庁交通部から販売自粛の要請が出た。

理由は――

一、映画内で繰り広げられる暴走シーンに明らかな速度違反などの道交法違反が認められ、重大な事故に繋がる違反がある。

二、制作過程で何も許可を取っておらず、暴走行為をそのままビデオに収めている。

三、このビデオに触発されて、暴走するドライバーが出る可能性がある言語道断の内容。

――などである。

さらに、2月16日、同交通部は、につかつ、につかつビデオなど9カ所を道交法違反の疑いで家宅捜査し、マスターテープや契約書等を押収。科警研でビデオテープの鑑定をした結果、制限時速を越えていることをつきとめた。

この事件で、につかつは販売中止の意向を警視庁に伝えているという。

以上のような内容が、朝日新聞等で報道された。

このビデオ映画の脚本家は当協会の会員・増田貴彦氏である。

脚本家当人の怒りは別掲したが、このような問題に今後、どう対処したらよいか、様々な方に自由に語ってもらった。

A 「記事を見たとき、頭にきました。第一、何の権利があって、警視庁の交通課がビデオ販売の中止を促すのでしょうか。これは検閲に相当する行為ではないですか」

B 「それはオーバーとちゃいます?」

A 「ライターへの癖に危機感がありませんねえ。これは検閲ですよ」

B 「ケンエツでも……につかつ側が、ほなら出すのやめまひよて言うたんでしょ? 制作側に問題があるんとちゃいまっか?」

A 「警察が介入してること自体が問題なんです」

B 「介入したがるのが官憲。反対したがるのが大衆ちゅうもんとちゃいまっか?」

C 「その変な関西弁、やめてくれます?」

B 「それこそケンエツやで。そもそも言葉ちゅうのわやなあ」

D 「まあまあ、そう目尻下げないで」

B 「目くじら立てとんのじゃボケ!」

A 「問題はア、表現の自由に関して、我々がア、ドォ、対処オ、するかといッ、本質的なア、プロパピリティをオ、形而上的に」

D 「そういう人だったんですか?」

A 「検閲ですよ。いや百歩譲って、検閲ではないにしろ、こ

れはルーレット族という暴走族まがいの若者の青春群像を扱っているドラマじゃないですか。別に暴走族になれと奨励している映画では決してないし、暴走はやめて走り屋なら、プロのレーサーになれという話にもなってる。これを見たらア、事故が増えるといッ、警察の乱暴な意見はア、殺人ミステリを見たらア、みな殺人者にイ、なるとでもー!」

C 「まま、落ちついて」

A 「すみません、癖なんです」

D 「Aさんの言う通り。それじゃまるで、風が吹けば桶屋が儲かる、ですよ」

B 「その例えはようわからへんけど、エッチ映画とは話が違ふと思えますねん」

C 「という?」

B 「エッチの場合は、何がエッチかということが問題でしょ?」

A 「そうです。刑法174条・公然猥褻罪と175条・猥褻物頒布罪という犯罪行為を特定する条文があって、その中の猥褻という言葉で、どう解釈するかで揉めた」

B 「よう知ってなはる」

A 「しかし今回は、道路交通法違反だ。映画で使われてるシーンが道交法違反してる。だからといって、それが直ちに、交通事故を誘発するから、発売中止にせいと短絡的な結論をなぜ導き出せるのか、私には理解ができません」

C 「ですけど……」

A 「なんですか」

B 「言いたいことをどうぞ。何でも言うのが私らのエエとこやさかい」

C 「はい。この事件には、実は……がありまして」

A 「なんですか」

C 「このビデオ映画はシリーズ化されてましてですねえ、既に発売されている数本の撮影に関して、警察から再三、警告されてたらしいんです」

A 「らしい?」

C 「つまり……警察から道路使用の許可もなく、交通違反をして、実際のルーレット族に走らせて撮影したことが問題で、それに対して警察はマナーを守りなさいといわばイエローカードやレッドカードを出してるんですね。にもかかわらず、撮影クルーは警察の目を盗んで、撮影を強行したらしいんです」

A 「もしそれが事実だとして何ですか? ビデオ販売の中止とは論点が違う」

C 「つまり……そういう色々な経緯があって、警察としても黙ってられなくなった。交通違反を黙認するわけにはいかんのです。例えば、『レディース』という名作がある。あれがなぜ摘発されないかという、ホンモノじゃないからで

す。そう見せているに過ぎないからなんです。ですから、この事件の場合は、創作物を検閲するとか、そういう類のとは一線を画する、そう思うのですが、いけませんか？」

D 「その通りだと思う。猥褻のような、表現の自由を制限するのではなくて、あくまでも、撮影に対する規制だと。ルールを守りなさいという意味で」

B 「それも、チョーッとちゃうんとちゃう？ それなら、あくまでも撮影クルーを警察が追いかけて、何が何でも撮影ささへんどーって捕まえりゃええんで、ビデオを捕まえてどないすんネンて感じやな」

A 「同感。交通違反は現行犯逮捕じゃないの？」

B 「そういうのが罷り通ったら、テレビドラマでも警察から逃げる犯人はみんなシートベルトつけて、信号守って一旦停止しながら逃げない限り、放映中止になりかねん。難癖つけられて、カーチェイスだっってどンドン発売中止や。そうになったら、それを飯のタネにしよう思ってた脚本家はどないなんねん。交通違反取り締まりの煽りは食うが、飯は食うなっちゅうのんけ！」

A 「こういう表現の自由に関する問題が起きた場合、作協はどう対処するんですか？」

C 「……可及的すみやかに前向きに善処します」

B 「なんやねんな。しょうみな話が、まず行動、ちやいます？」

C 「ほなら、おまえがやれ！」

B 「お、おまえ？ ——天下のXXに向かって、おまえ呼ばわりするんかい」

C 「すみません」

B 「すぐ謝るな。そやから、なめられんのじゃ。物書きは殺

然とせにゃならん。毅然と何にでも対応する。わたしらに怖いものは何もないのんじゃ！」

A 「その通りだア！」

D 「通りといえば、原宿のホコ天も、交通渋滞などを理由にバンド活動してる若者を締め出した。これもなんだか変だよね」

B 「そや。憲法が表現の自由や集会の自由などを保障しとるさかい、交通違反たら別件でいじめよるんじゃ。これからもドンドン出てくるに違いない。公安部とか刑事部ではなく、交通部が違反を摘発することによって、表現に制限を加える」

D 「ならば道路交通法に表現制限速度でも作ればいい」

A 「破防法も簡単に始めたし……なんだか怖くなってきました。もし政府批判や警察批判をして集会を開いたら、作協も破防法適用の団体に……」

B 「それはないやろうけど、ビデオより交通部の方が、よっぽど暴走してるわい。スタッフの違法行為を取り締まるのは当然やけど、出来上がった作品はそれとは違う次元の物だから、きっちり分別して貰いたいわなあ、じっさい」

C 「そうですね。みんなで警察の暴走を監視しましょう。それをできるのは、マスコミや我々作家や芸術家なんですから」

(以上、複数の脚本家に聞いた話を討論風にまとめました)

ENTERTAINMENT
E7kan



映像販売株式会社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-11-13

俳協ビル1F

TEL 03-3355-1081 FAX 03-3355-1322

堀 公也

ミステリ&暮

同好の士、メール下さい。

久しぶりに老妻が上京しての土産に、面白いから読めと俵が呉れたのが、なんと<剣客商売>の文庫本13冊。新しい翻訳物のミステリかと期待したのにガッカリ。そこへもってきてウィーン留学中の孫娘からの電話での注文が、これまた<半七捕物帳>!!

国民の読書やテレビへの嗜好の底流は、こんなものでしょうかね? 放送作家情報2期1号、放送現場での作家と局側の関わり合いや角逐の生の声は、九州の果てで売れもせぬミステリなんか書いているノミナル放送作家にとっては、ビックリ仰天ものですが、これも日本の文化の一翼を担って軋む園車の稼働音かと、売り手買い手の双方へ心より声援を送るものです。パソコン通信やっています。ハンドルネームはくさつまチコ> IDはKFQ00152。

杉 昌英

『侍所』を設立?!

時代劇のことなら、なんでもござれ。

ドラマ作りから、あらゆる時代の時代考証、撮影の手配から、役者への交渉。日本で唯一、時代劇を生み出す専門コーディネーターの集団……を作いませんか?

時代劇がなんとなく下降ぎみの時代。21世紀にも、マゲモノの神髓を伝えるために、今こそ専門家が結集して、日本の伝統と技術を、新しいモノとして作りあげましょう。そして、一緒にテニスをし、温泉につかりましょう。

TV映画・劇映画
記録映画・TVCM
企画・製作・販売

株式会社
シーエーエル
C.A.L
CREATIVE ASSOCIATES LTD.

代表取締役
社長 松前洋一

〒104 東京都中央区築地1-9-9
細川ビル6F
☎ 3545-2911(代表)

■ちょっと教えて■

阿部仲麻呂のこと。

「天の原 ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に出でし月かも」——百人一首で有名なことの望郷の歌の作者、阿部仲麻呂は、約1300年前に遣唐使船で中国に渡り、唐の玄宗皇帝に重用され、李白、杜甫、王維ら一流の詩人たちとも交わりながら日中を結ぶ架け橋のような役割を果たして、やがて動乱の彼の地に没しました。

その波乱に充ちた生涯を描く企画(ドキュメント映像プラス何らかのドラマ)が、もしかすると実現するかもしれません。とはいえ彼について書かれた本はあまりにすくなく、原作から書き起こさなければならないようです。ポチポチ資料を当たりはじめていますので、ご存知の研究書や著作(小説なども含めます)があればご教示ください。決して無責任にパクッたりは致しません。 竹内日出男

自律神経失調症状で困ってます。

自律神経失調症と診断され、精神安定剤を手放せなくなって、四年目に入りました。仕事上はもちろん日常生活にも支障をきたし、大変困っています。

どなたかこの病気が治ったという方、または有効な治療法を御存知の方、お話をお聞かせ願えません。よろしくお願ひします。

アリコの新ガン保険

1. ガンと診断されたら
一括 1,500,000円

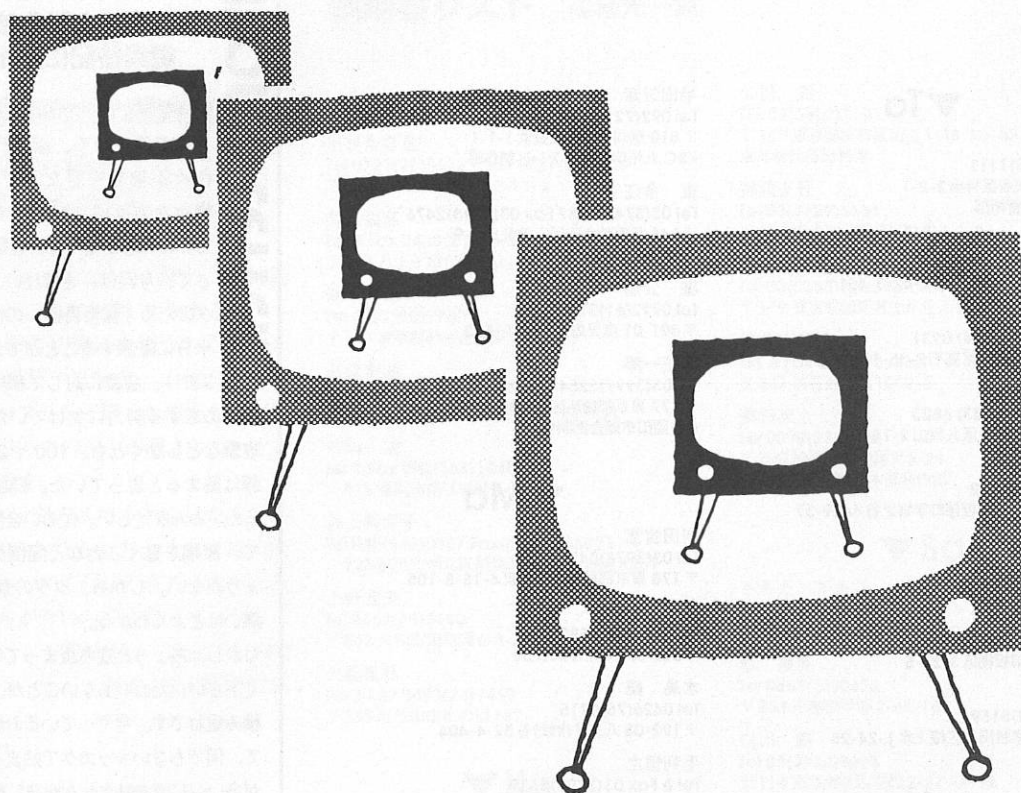
2. ガンで入院のとき
日額 10,000円

3. ガンで手術した場合
1回につき 100,000~400,000円

35歳男性保険料 1,685円

脚本家連盟担当
那知公智子

アリコジャパン横浜支社
電話 (045) 661-1471(代表)



松竹テレビ部

東京都中央区築地 1-13-5 ☎(3542)5551



東宝テレビ部

東京都千代田区有楽町 1-2-1 ☎(3591)7521



東映テレビ事業部

東京都中央区銀座 3-2-17 ☎(3535)4641



大映映画営業部

東京都港区東新橋 1-1-16 ☎(3573)8711